



Polaris news

【北高新聞 NO.202102】

「Take action online camp 2021 夏」 地域や年齢を超えた仲間と社会問題やアクションと向き合うプログラム (2021.8.17~20)

Take action online camp は、Free the children japan が主催するオンラインプログラムです。日本全国から計 32 名が参加し、身近な社会や世界で起きている問題やアクションの方法を、講義やグループワークを通して学びました。
(国際理解コース 1年 内木優花・中山心音)

■活動①：「お家でアクション」



自分の家や地域の中で社会問題を少しでも解決できるような行動を一人ひとり考えました。私はブックカバーを作りました。

社会問題を知ることはもちろん、様々なバックグラウンドを持った方との意見交換はとても得るものが多かったです。また自分の意見にみんなが「賛成」とか「いいね」と言ってくれるのでとても意見が言いやすかったです。

またいつもなら関わりが少ない年代の人の意見も知ることが出来て価値観や視野が広がりました。自分に何ができるのかを知ることができたので良かったです。

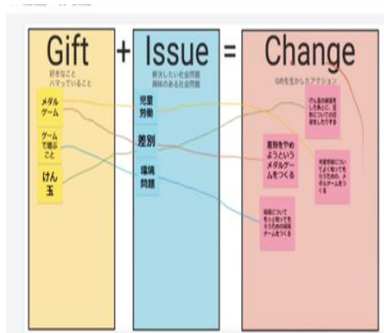
(中山)

■活動②：「平和的な解決方法の取得」



鬼が悪さをしたという話を鵜呑みにせず和解をさせました。ここでは、鬼は悪いという先入観にとらわれることなく、物事の本質を見抜くということを学びました。

■活動③：「Gift+Issue=Change」



Gift は好きなこと、はまっていることを、Issue は解決したい社会問題、興味のある社会問題を書き、Change は Gift を活かしたアクションにつなげて問題を解決する方法を考えました。

意見を出さざるを得ない状況になるので自然に意見を言う力が身に付きました。その他にも毎日学校に行くことが出来て、当たり前のようにご飯を食べることができる私の生活がどれだけ幸せな事なのか、改めて感じる事が出来ました。

(内木)